

6 5 4 よみやすいようなこと。をつけましょ。、もひととますのなかにかきましょ。
おはなししたいたい。「」のなかにれましょ。

「は」と「わ」・「へ」と「え」・「お」と「を」とをまちがえずにつかいわけましょ。

| | | | | | | | | | | | |
|---------|------------------|---------------|---------------|------------------|----------------|---------------|-----------------|-----------------|----------------|--------------|----------|
| てつだいとまる | ることや、おとしもありのひとのお | は、ワトボトしのぶをあつめ | が、ぼくにでさうなぶラント | る、レーフもあう「なごのしゅるい | 」さくえあう「ちきゅうをまも | ボランティアには、「あつめ | けんガくしゅうにしましました。 | がやござまなびボランティアたい | かあさんとおとうとといしょい | ぼくにでさるボランティア | 西原小一ねんばい |
|---------|------------------|---------------|---------------|------------------|----------------|---------------|-----------------|-----------------|----------------|--------------|----------|

月 日 ようび



3 2 1 だいもくは、一ぎょうめに、がいこう・がくねん・くみ・なまえは「一ぎょうめにかぎ、ふそしょは、二ぎょうめの二ほんめのますからかきましょ。だんらくのはじめはかならず一じさげかきはじめ、だんらいひとにぎょうをかえましょ。しほどのぎょうも三ほんめのますからかき、あたまをそろえましょ。」

3 2 1 だいもくは、一ぎょうめに、がつこう・がくねん・くみ・なまえは「一ぎょうめにかき、さんしょうは、二「かよつめの二ばんめのますからかきましよう。
だんらくのはじめは、からなげーじさげてかきはじめ、だんらく」とにぎょうをかえましよう。
しほどのがとうも三ばんめのますからかき、あたまをそろえましよう。

月 日 ようび

と
う
と
お
も
い
や
り
か
せ
ち
よ
も
つ
て
、
み
し
な
で
を
す
け
あ
、
こ
い
ま
た

い
で
よ。

6 5 4 よみやすいように、「と」をつけましよう。、も。もひとますのなかにかきましよう。
おはなし「た」、「」のなかにいれましよう。
「は」と「わ」・「へ」と「ゑ」・「お」と「を」をまちがえずにつかいわけましよう。

(不許複製)

